

保育所再編の基本方針を 決定しました

3月25日に教育委員会が開かれ、保育所再編についての基本方針が、次のとおり決定されました。

◆保育所数について

○中山地区

- 1 園とする。
- 3 保育所を統合し、拠点保育所を新設する。

○名和地区

- 2 園とする。
- 3 保育所を統合し、拠点保育所を新設する。1 保育所を存続する。



▶「このお花、誰にあげようかなあ」

○大山地区

- 2 園とする。
- 所子保育所と高麗保育所を統合し、拠点保育所を新設する。大山保育所を存続する。

◆拠点保育所の位置

次の3点に留意し、引き続き協議をしていきます。

- ・ 十分な面積と、安全を確保できること
- ・ 小・中学校に近く、保・小・中の連携がとりやすいこと
- ・ 保護者の利便性を考慮し、交通アクセスがよいこと

◆拠点保育所の内容

- ・ 保育サービスを集約する
- ・ 子育て支援センターを併設する

以上の内容を踏まえ、建設に向けての検討会を設置し、具体的な協議を進めていきます。

**お寿司で
カエルが
できた!**
～名和公民館～



▲ 10組の親子が参加

保健福祉センターなわで、3月7日(日) 名和公民館子どもカルチャー教室を開きました。小学生の親子10組22人が「カエルのデコ巻き寿司」に挑戦しました。

講師は飾り巻き寿司インストラクターの早田真恵さん。青のりで寿司めしを緑色にし、チーズかまぼこや魚肉ソーセージをカエルの目や口に見立てて各パーツを作ります。今回は巻き



▲とってもかわいい出来栄えに!

すを使わず、ラップで巻き上げる方法で作りました。寿司めしの広げ方や裏巻きのテクニッ

新1年生に

「事故なし」
手作りホルダー

贈呈

美野梨つくしグループ

新入学を迎えた町内の小学1年生に、通学時に事故やけがをしないようにと、中山地区の美野梨つくしグループ(金田智津子代表)から約150個のキーホルダーが贈られました。

これには「事故梨、木をつけて、車に気をつけて」という意味があります。新1年生のかばんの横につけて通学してもら

く、巻き寿司の切り方のコツを教えてもらいました。

さて、いよいよ巻きあがったお寿司を切ると・・・できました! できました! カエルの顔が。『食べるのもったいな〜!』と歓声があり、かわいい出来栄えにみんなが大満足でした。

菜の花のお吸い物を添えて試食をしながら、子どもたちは家でも作ってみたいと楽しそうに話していました。

よう贈ったキーホルダーで、地元の梨の木を材料に小さい梨を形どっています。一つ一つを手作りする中に、同グループの願いが込められました。



▶ 手づくりのキーホルダー